

## マルコの福音書 1 章 14 節から 20 節 キリストの弟子づくり

ある意味、マルコの福音書全体はキリストの弟子づくりについての内容と言えるかもしれません。最初の弟子たちが召される様子、これはマルコの福音書 1 章 14 節から 20 節に書かれています。14 節からの 2 節分を見ると、最初の弟子たちが召されたことに関連して、弟子となった彼らが何を応答したのかが示されています。クリスチャンであるとはどういう意味か。これには様々な解釈があります。しかし、その核心はキリストの弟子である、ということです。多くの人々にとってどうでしょう。イエスにつき従う事ということは、罪人が祈ったり、それに類する祈りを唱えたりして、地獄から抜け出す事に尽きるといえるでしょう。しかし、キリストにつき従うとは、それ以上のことなのです。イエスがわたしたちに、従いなさいと呼びかけるとき、イエスが本当にわたしたちに呼びかけている事とは何なのでしょう。わたしは、今日の聖書箇所をとおして、わたしたちがそれを知ることができることを望みます。イエスの呼びかけとは、わたしたちにとって簡単にできるものではありません。もちろん、複雑なことでもありません。使徒の働き 16 章 31 節は、"主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも（あなたの家族も）救われます。"と要約しています。しかし、その呼びかけは簡単なことではないのです。これから聖書箇所を見ていきます。すると、わたしが言いたいことが明らかになると思います。

### 14 ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べ伝えて言われた。 15

「時が満ち、神の国が近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」2 週間前、バプテスマのヨハネについてご紹介しました。イエスがサタンの誘惑を受けて荒野で過ごした後、正式な宣教開始とほぼ同じ時期に、彼は逮捕されました。バプテスマのヨハネが逮捕されたこと、イエスが荒野で過ごしたこと、イエスが宣教を開始したこと。この 3 つの出来事は、イエスがバプテスマを受けた後に、短期間のうちに連鎖的に起こっています。最初にイエスの弟子となった人たちは、イエスにつき従うことがどういうことになってしまうのか、うすうす知っていた。14 節から 15 節を読むとこんなことが分かります。これらの節は重要です。さて、イエスにつき従うとは、いったい何を意味するのでしょうか。イエスにつき従うこと。その核心は、信仰と悔い改めなのです。信仰と悔改め。これが、イエスが宣べ伝えたメッセージです。これが、イエス・キリストの福音のメッセージなのです。この信仰と悔改めは、バプテスマのヨハネが伝えたメッセージでした。わたしたちは 2 週間前にそのことを見ました。また、旧約聖書の預言者たちは、悔い改めと信仰をもって神に立ち返れ、と呼びかけ続けましたが、ヨハネはその預言者達に続く 1 人でした。そのことも、わたしたちは見ました。わたしは先ほど、使徒の働き 16 章 31 節を引用した時に言いました。救いとは、イエスを主であり救い主であると信じるだけである。そうすれば救われる、と。ここにいるあなたが、今まで一度として、自分の罪を悔い改めることも、イエス・キリストを自分の主であり救い主として信じることもなかったとします。そうならば、今日の礼拝説教であなたが受け取るべきメッセージはこうです。「悔い改めて信じなさい。」それは今も変わっていません。マルコが伝えたかったことは何でしょうか。イエスに最初に従った人たちが理解していたことは何でしょうか。それは、イエス・キリストを信じるこの信仰は、核心は悔い改めて信じるというという単純なものだが、時として、大きな代償を伴うことがある、ということです。イエスにつき従う。その核心とは、ただ悔い改めて信じることです。ですから、弟子となることは痛みを伴うこともあるのです。なぜマルコは、バプテスマのヨハネの逮捕と、信仰のメッセージとを、結びつけたのでしょうか。それは、イエスにつき従うということは、男性にとっても女性にとっても、バプテスマのヨハネと同様に迫害されることがあり得るのだ、ということの意味するからなのです。イエスにつき従うということは、常に、誰かがあなたを拒絶することを意味するのです。当時の世の権威はバプテスマのヨハネを投獄して、そのメッセージを拒絶しました。マルコの福音書を更に読み進めていくと、彼らはヨハネを投獄して殺してしまった、と書かれています。

イエスが一貫して宣べ伝えていることが、もう 1 つあります。それは、神の国は近い、ということです。神の国は近い。マタイはこのことに最も重点を置いて福音書を書いています。しかし、マルコとルカもこのことを多く語っています。この神の国という概念は、実に、イエスの生涯と

教えを要約しています。神の国という概念は、直接的には、神が王であるという聖書の考えから来ています。詩篇 5 篇 2 節にはこう書かれています。2 私の叫ぶ声を耳に留めてください。私の王 私の神 私はあなたに祈っています。神にある王としての権威は、神が万物の創造主であることに由来します。旧約聖書に書かれたイスラエルの歴史において、神は、当時地上で最も偉大な国であったエジプトの力を打ち破り、とらわれの状態にあった民を救い出されました。わたしたちは、このことをとおして、その権威を目の当たりにするのです。神の王権は、イスラエルの建国、そして出エジプト記 20 章にある十戒の授与において見られます。出エジプト記 20 章に書かれているように、神は民に十戒を与えました。さらに、後に様々な律法を与えました。神は、神の民としての民族的アイデンティティが、イスラエルの基礎となることを意図していたのです。しかし、イエスは、神の国を、旧約聖書のイスラエルの民だけが経験することばかりに限定しませんでした。当時のイスラエルの宗教的・政治的指導者たちとは対照的でした。自分こそが神の国の成就者である。イエスはこのように大胆に主張をされたのです。イエスは 15 節でこう言っています。時が満ち、神の国が近づいた。イエスが地上におられる。それはつまり、神がこの地上におられるということだ。このことは、旧約聖書において神が成し遂げてこられたことの、まさに集大成なのです。神の国の一員になることは、決して、特定の国の人々だけに限っていたのではありませんでした。しかし、誰でも神を王とする国の一員となることを可能にしてくださるのは、特定の国の人々から来られるひとりのお方なのです。神の国は、悔い改めと信仰をもって神に近づく者なら、誰でも入って行って、その一部となることができる。イエスはそのように示されたのです。神の国に入るためには、イエス自身の手によって入らなければなりません。ある聖書注解者はこう言っています。「ナザレのイエスにおいて、神の国は姿を現す。」

神の国について語るべきことはまだたくさんあります。また、神の国とは何か、神の国が今地上に来ているのか否かをめぐって、神学界では論争が繰り広げられています。わたしはこれらのご事情については立ち入りたくありません。ただ言わせていただければ、イエスは、神の国はすでにイエス・キリストによってもたらされた、と宣べ伝えました。神の国は既にイエスの到来によって来た。ある意味、このことは明らかでしょう。新天新地が来ると、キリストの物理的支配が完全に実現する。ヨハネの黙示録を読むと、このこともまた明らかです。つまり、神の国はすでにあるが、まだない。このように考えるのが最善です。わたしたちは、すでにイエス・キリストによって神の国の一部となっています。この世にはびこる罪が影響しているために、まだ、完全なる神の国の栄光を体験していないのです。このことを、パウロはローマ人への手紙 8 章で述べています。ローマ人への手紙 8 章 18 節から 22 節は言います。18 今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。19 被造物は切実な思いで、神の子どもたちが現れるのを待ち望んでいます。20 被造物が虚無に服したのは、自分の意志からではなく、服従させた方によるものなので、彼らには望みがあるのです。21 被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由にあずかります。22 私たちは知っています。被造物のすべては、今に至るまで、ともにうめき、ともに産みの苦しみをしています。神の国が完全に実現すると、栄光がわたしたちを待ち受けています。神の子あるいは神の娘として永遠を体験するようになると、現在わたしたちが体験している苦しみのすべてが、何でもないことに思えるようになるのです。神の国が完全に実現することを思えば、この地上での生活は、赤ん坊がこの世に生まれて喜びに満たされた時、終わりを告げる産みの痛みのようなものかもしれません。神の国について以上のように考えると、この福音のメッセージの一部である神の国は、キリストの弟子であることの意味とは何かを示す、輝きに満ちた素晴らしい真理なのです。輝きに満ちた素晴らしい真理である理由は、あなたが神の国を手にするからです。16 節以降を読み進めると、わたしたちは弟子の献身がどのようなものかを見ます。すると、わたしたちは、彼らの献身の姿を見て、単純に、地上での生活の楽しみをあきらめるのか、と受け止めがちです。しかし、わたしたちが献身をとおして得るものは、イエス・キリストをとおして、永遠の神の国とこの世における神の御業の一部となるという知識...これです。救いとは、良いものを諦めることではありません。最高のもの、永遠のもの、宇宙の王である創造主なる神との関係を得ることなのです。

それでは16節を見ます。イエスの呼びかけにこたえて、イエスの弟子になった最初の4人、つまりイエスの最初の弟子たちを紹介しています。16 イエスはガリラヤ湖のほとりを通り、シモンとシモンの兄弟アンデレが、湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。17 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」18 すると、彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った。19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。20 イエスはすぐに彼らをお呼びになった。すると彼らは、父ゼベダイを雇い人たちとともに舟に残して、イエスの後について行った。マルコの福音書はペテロの物語であるとお話ししました。そのことを思い出してみてください。つまり、ペテロがキリストと出会った体験について、そしてキリストにつき従うことの意味について書かれた福音書です。ペテロが弟子としての召命を受けたところから始まることに疑問はありません。ペテロの名前はシモンといいました。イエスがシモンをペテロと呼ぶようになって、ペテロという名前となりました。彼は兄アンデレとともに漁師でした。それから、おそらく同じ漁場であったと思われませんが、ヤコブとヨハネという名前の2人の兄弟が漁をしていました。イエスが最初に召されたのが4人の漁師でした。このことには、どのような意味があるのでしょうか。画面の地図をご覧ください。ガリラヤ湖があります。ここは、イスラエルだけでなく、ローマ帝国周辺でも、おいしい魚が獲れる所として知られていました。漁業は一大ビジネスでした。ガリラヤ湖周辺には少なくとも19の漁港や船着場がありました。漁業は網を使った重労働でした。漁師たちは、言ってみれば、ブルーカラーすなわち重労働者でした。彼らはまた、市場で魚を売り、最良の価格と取引関係を求めて交渉するような、抜け目のないビジネスマンでもあったようです。しかし、漁師たちは当時の宗教専門家ではありませんでした。彼らはみなユダヤ教徒として育ちました。彼らは、ユダヤ教の宗教要件や、宗教指導者による旧約聖書の解釈を間違いなく知っていました。しかし、彼らが特別に霊的な人間だったとは思えません。彼らは日々、生計を立てることに忙しく、前日より魚の収穫を得ることばかり考えていました。ではなぜ、そんな漁師の彼らがキリストの弟子として選ばれたのでしょうか？なぜイエスは彼らを召されたのでしょうか？この疑問は、弟子として召されることの核心に触れます。また、わたしたちを弟子として召した主体はイエスである。このことが、わたしたちが理解しなければならぬ、召しにおける第1の側面です。弟子たちはイエスを探していたのではありません。イエスが弟子たちを探しているのです。弟子たちの宗教的背景は旧約聖書の律法に根ざしています。ところが、イエスは、彼らの宗教的背景や神ご自身の名前に基づくのではなく、「わたしについてきなさい」と具体的に呼びかけているのです。このことは、メシアとしての権威を示します。また、その神性をも指し示しています。弟子になる。それは、イエスにつき従うことである。わたしたちは、この点を明確にしなければなりません。わたしたちは、宗教に召されているのではありません。イエス・キリストと関係することに召されているのです。主はわたしたちを呼んでおられます。そして、ご自分との関係を求めておられるのです。

召しにおける第2の側面は、弟子として召されることは、奉仕することに召されることです。弟子であること。これは禁欲的に生活することではありません。それに、聖書を読んで賛美歌を歌うだけで余生を過ごすことでもありません。イエスは彼らにこう言われました。「わたしについて来なさい。そうすれば、あなたがたを漁師にしよう。」イエスにつき従うことにはゴールがあります。それは、イエスに仕えるということです。人をとる漁師になる。これは、なんと素晴らしい奉仕でしょう。イエスは、魚を捕るのが得意なこの男たちを、人々を養うために連れて行こうとされたのです。イエスは彼らに生き方を教え、自分が宣べ伝えていたのと同じ、悔い改めと信仰による神の国の福音を宣べ伝えさせようとしたのです。こうして、弟子たちは他の男女をキリストの弟子（あるいは漁師）にしようとしたのでしょうか。わたしたちは、イエスが昇天される前の「大宣教命令」までは、まだ読み進めてはいません。しかし、イエスはすでに、弟子とは、他の弟子を作ろうとする者だ、と言っているのです。そして、わたしたちの人生におけるその召命とは、わたしたちが優先するべき事となるように、わたしたちの人生のすべてをとおして行われるように、心をそこに向けなければならないものなのです。キリストにつき従いなさい。キリ

ストに仕えなさい。このような召しに従うために、この男たちが何をあきらめたのでしょうか。そのことを見てみましょう。ヤコブとヨハネは父親を捨てました。弟子として召されることは、家族よりも、仕事よりも、すべてよりもイエスを優先させることなのです。もちろんあなたには、まだ家族も、仕事も、様々なこともあるでしょう。しかし、イエスがあなたに呼びかければ、家族であろうと、仕事であろうと、その他の影響力であろうと、あなたの人生の中で、イエスの呼びかけが、こうしたものとの関わり方をはるかに超えて、あなたに影響を与えるのです。漁網は仕事を象徴する良いものです。家族はもっといいものです。しかし、神から呼びかけられたならば、これまでの様々な約束事を捨てて、完全にキリストにつき従うことに自分を献げていくのです。

**イエスの呼びかけは他の人々との共同体の中で従われる。**このことが召しにおける第3の側面です。弟子たちは1人1人名前で呼ばれています。彼らはひとつの集団ではありません。彼ら1人1人は、個人的にイエスから選ばれて、個人的にイエスにつき従って、その1人1人が共にひとつの共同体を作り上げているのです。弟子たちが共につくる共同体以外、つまり教会から離れたところで、信仰生活を送るクリスチャンについて理解を示す部分は、新約聖書には見当たりません。弟子たちが共にしたこととは何かを考えてみましょう。イエスと一緒に食事をしました。イエスと共に神殿で礼拝しました。たった数匹の魚とパンで何千人もの人々を養うような奇跡的な方法で、彼らは共に奉仕をしました。彼らはイエスと共に祈りました。イエスが眠られた場所で眠りました。イエスが行かれたところに一緒に行きました。こうしたことが、彼らを共同体として結び付け、家族として結びつけたのです。このことは、教会のあるべき姿をわたしたちに映し出しています。キリストにつき従う弟子たちの共同体の中で、救い主イエス・キリストとともに過ごす中で、弟子たちは共に成長していくのだ、ということです。教会以外の人間関係がどうであれ、教会は、他では得られないような、あなたを支えてくれる愛に満ちた深い誠実な人間関係を見出す場所であるべきです。イエスはあなたの名前を知っていて、親しみを抱いておられます。イエスはあなたに、ご自分のようにあなたを知り、あなたを愛そうとする共同体の一部となることを望んでおられるのです。

わたしたちの召命はイエスにつき従うことです。それは、キリストの最初の弟子たちの召命と同じです。当時の弟子たちは、召された時に即座に反応しました。イエス・キリストにつながって、イエス・キリストを中心にして築かれる神の国の一部となる。そのために、彼らは自分たちのしていることをやめてイエスに従ったのです。あなたは、同じようにしたいという気持ちがありますか？他のどんな約束事も捨てて、イエスに完全につき従い、イエスから与えられた「人を漁れ」という召命を担い、他の弟子を作り、彼らをも神の国に連れて行くことを、あなたは望んでいますか？もし、あなたが自分の罪を悔い改めないならば、イエス・キリストを主であり救い主であると信じたことがないならば、あなたはまだ、神の国の外にいます。だから、弟子となるように、というイエス・キリストからの呼びかけに応じることはできません。イエスが弟子たちに呼びかけたように、今日、神はあなたにもイエスにつき従うよう呼びかけておられます。イエスに呼びかけに即座に従った弟子たちのように、今日、あなたはイエスの呼びかけに応えますか？罪を悔い改め、イエス・キリストを救い主、主として従いましょう。イエスの弟子の一人となって、この地上で経験できるどんなことよりもずっと素晴らしい彼の王国に入りましょう。お祈りします。

## Mark 1:14-20 The making of a disciple

In one sense this entire book could be called the making of a disciple. But here in Mark 1:14-20, we see the first disciples called. And in relation to their calling, the first two verses of the passage show us what they are responding to in the call to be a disciple. There are a lot of understandings of what it means to be a Christian, but at the core, it means to be a disciple. For many people, following Jesus can be boiled down to saying the sinner's prayer or a similar prayer and getting out of hell. But following Christ is so much more than that. **I hope through this passage we see what Jesus is really calling us to, when he calls us to follow him.** It's not the easy call that we sometimes try to make it. Of course, it's not complicated. [Acts 16:31](#) boils it down to "believe on the Lord Jesus Christ and you will be saved." But it is not an easy calling. Let's look at these verses and hopefully it will become clear what I mean.

**<sup>14</sup>Now after John was arrested, Jesus came into Galilee, proclaiming the gospel of God, <sup>15</sup>and saying, "The time is fulfilled, and the kingdom of God is at hand; repent and believe in the gospel."** The man we were introduced to 2 weeks ago, John the Baptist is arrested at about the same time that Jesus begins his official ministry after spending time in the wilderness being tempted by Satan. That, of course, happened after his baptism, so all three of these events happen in short succession of one another. These verses are important to be able to see that the first disciples of Jesus know what it is they are being called to when following Jesus, at least in some small way. So what do we see here that following Jesus entails. **The core of following Jesus is faith and repentance.** That is the message Jesus proclaimed and that is the message of the gospel of Jesus Christ. Two weeks ago, we saw that this was the message of John the Baptist, and he was a continuation of the Old Testament prophet's call to repentance and turning to God in faith. I mentioned earlier that in [Acts 16:31](#) salvation is as simple as believing in Jesus as your Lord and Savior and he will save you. If you are in here and have never repented of your sin and trusted in Jesus Christ as your Lord and Savior, then the message for you is this, "repent and believe." That has not changed. But just as Mark wanted to convey and the first followers of Jesus understood, this faith in Jesus Christ, which is simple at its core – repent and believe – **can come with great cost at times.** Because while the core of following Jesus is to just repent and believe, discipleship can be painful. Why does he tie together the arrest of John the Baptist with this message? For just that reason, for the men and women who follow Jesus, just like John the Baptist, it could mean persecution. It will always mean that someone will reject you, like the governing authorities rejected John and his message to the point of imprisoning and we will see in a few chapters, killing him.

Another theme that Jesus consistently proclaims is the nearness of the kingdom of God. Matthew is the gospel writer who focuses most heavily on this topic, but Mark and Luke both talk about it a lot as well. This concept of the kingdom of God actually summarizes Jesus' life and teaching. It flows directly from the Biblical idea of God being king. [Psalm 5:2](#) says **2 Give attention to the sound of my cry, my King and my God, for to you do I pray.** God's kingship comes from him being the Creator of everything. We see his authority in the history of Israel in the Old Testament as he defeats the power of the greatest nation on earth at the time, Egypt, to bring his people out of captivity. His kingship is seen in the establishment of the nation of Israel and the giving of the 10 Commandments in Exodus 20 and then the rest of the law, that was intended to be the basis of their national identity as the people of God. But Jesus was not limiting the

kingdom of God to the Old Testament experience of the people of Israel as the religious and political leaders of Israel in Jesus' day did. Jesus made the bold claim that he is the fulfillment of the kingdom of God. So, he says in verse 15, **The time is fulfilled, and the kingdom of God is at hand**... His presence on the earth really marks the culmination of what God was doing in the Old Testament. The focus was never supposed to be on a particular country or people, but on the one coming through those people who would make it possible for anyone to become a part of the kingdom that God is building. Jesus presented the kingdom of God as something that anyone who comes to God in repentance and faith can enter into and be a part of. But to enter that kingdom, you must go in by Jesus himself, because as **one commentator put it, "In Jesus of Nazareth the kingdom of God makes a personal appearance."**

There is a lot more to say about the kingdom of God, and there are arguments back and forth in theology over what the kingdom is and how much of the kingdom of God is on earth right now. I don't want to get into a lot of that, but let me just say that this is one of those areas, where the gospel as proclaimed by Jesus seems to be clear that in some way the kingdom of God has already come in Jesus Christ. But when we read the book of Revelation, it is also clear that a fully realized physical reign of Christ over a new heaven and new earth is waiting for us in the future. So, it is best to think of the kingdom of God in terms that we have discussed many times as "already, but not yet." We are already a part of the kingdom of God through Jesus Christ, but we do not yet experience the full glory of that kingdom because of the impact of sin in this world. This is what Paul is describing in Romans 8. **Romans 8:18-22 says, For I consider that the sufferings of this present time are not worth comparing with the glory that is to be revealed to us. 19 For the creation waits with eager longing for the revealing of the sons of God. 20 For the creation was subjected to futility, not willingly, but because of him who subjected it, in hope 21 that the creation itself will be set free from its bondage to corruption and obtain the freedom of the glory of the children of God. 22 For we know that the whole creation has been groaning together in the pains of childbirth until now.** There is a coming glory that awaits us in a fully realized kingdom of God that will make all the suffering of our present experience seem like nothing in the eternal experience of being a son or daughter of God. It will make everything here on earth seem like the pains of birth that end with the joy filled experience of baby coming into this world. This idea of the kingdom of God being part of the gospel message is a glorious and wonderful truth of what it means to be a disciple. Because the kingdom of God is what you are gaining. As we continue reading the next few verses and see what the commitment of a disciple looks like, we can too easily look at it as a life of simply giving up what you enjoy about life here on earth. But this knowledge that we become part of the eternal kingdom of God and his work in this world through Jesus Christ...this is what we gain. Salvation is not about giving up good things, it is about gaining the best thing, the eternal thing, the relationship with our Creator God, the king of the universe.

Then in verse 16, we are introduced the first 4 men who responded to this message and became followers of Jesus, his first disciples. **<sup>16</sup> Passing alongside the Sea of Galilee, he saw Simon and Andrew the brother of Simon casting a net into the sea, for they were fishermen. <sup>17</sup> And Jesus said to them, "Follow me, and I will make you become fishers of men." <sup>18</sup> And immediately they left their nets and followed him. <sup>19</sup> And going on a little farther, he saw James the son of Zebedee and John his brother, who were in their boat mending the nets. <sup>20</sup> And immediately he called them, and they left their father Zebedee**

**in the boat with the hired servants and followed him.** Remember that Mark is Peter's story, so it makes sense that a book of his experiences with Christ and what it meant to follow him, would start with his call to be a disciple. Simon was Peter's name before Jesus changed it later, and along with his brother Andrew, he was a fisherman. Then there were two other brothers probably in the same fishing area named James and John who were also called at that time. Now what is the significance of 4 fishermen being the first ones Jesus called? The Sea of Galilee, **located here on the map on the screen**, was well known for its delicious fish, not just in Israel, but around the Roman Empire. Fishing was a huge business, and there were at least 19 different fishing piers and boat launches around the Sea of Galilee. Fishing was a lot of hard work, using nets, and these men were in one sense very blue collar workman. But they also were likely shrewd businessmen, as they would sell their fish at market and negotiate for the best prices and business relationships. But what these men were not, were the religious experts of the day. They had all grown up Jewish, so they had undoubtedly been raised and knew the religious requirements and understanding of the Old Testament as interpreted through the religious leaders. But it is unlikely that they were particularly spiritual men. They were focused on making a living and getting a better catch of fish than the day before. So, why them? Why did Jesus call them? That question gets to the heart of the call to discipleship. And the first aspect of this call to discipleship we need to understand is that **Jesus is the subject of our call to discipleship**. These disciples were not searching for Jesus, he searches for them. And while their religious background is rooted in the Old Testament law, Jesus does not base his call on their religious background or even on the name of God himself, but instead, he specifically calls them to "follow me." This shows his authority as the Messiah and even points to his Deity. We have to be clear that being a disciple is to follow Jesus. We are not called to a religion, but to a relationship with Jesus Christ. He calls us and seeks us out to be in relationship with him.

But secondly, **this call to discipleship is a call to service**. Being a disciple is not a life of asceticism and spending the rest of your days just reading the Bible and singing hymns. Notice Jesus says to them, **"Follow me, and I will make you become fishers of men."** There is a goal in following Jesus, and it is a calling to serve Jesus. And what an amazing service, to be fishers of men. He was going to take these men who were good at catching fish to feed people and teach them how to live and proclaim that same gospel of the kingdom of God through repentance and faith that he was proclaiming. Through that, they would seek to bring (or catch in fishing terms) other men and women to be followers of Christ as well. We haven't even gotten to the Great Commission yet, which comes before Jesus ascends into Heaven. But Jesus is already saying that a disciple is one seeking to make other disciples. And that calling on our lives has to be narrowly focused so that everything in our lives is done in such a way that that calling becomes our priority. Look what these men gave up in order to follow Christ and his call to serve him. James and John left their father. The call to discipleship is the call to put Jesus above family, above job, above everything. Of course you still have those things, but the call of Jesus outweighs and even influences how you interact with each of those aspects of your life, whether it is family or work or other circles of influence. Fishing nets are good things that represent their jobs, families are even better things, but the call of God is to leave your former commitments and be completely devoted to following Christ.

But there is a third aspect to this call, and it is that **the call of Jesus is obeyed in community with others**. These disciples are called by name. They are not a faceless crowd. They are personally chosen to follow Jesus together as a community of disciples. There is no New Testament understanding of a Christian who lives their Christian life outside the community of other disciples... in other words, outside of the church. Think about all the things these disciples did together. They ate together with Jesus. They worshipped together at the temple with Jesus. They served together in miraculous ways like feeding thousands of people with just a few fish and pieces of bread. They prayed together with Jesus. They slept where he slept. They went together where he went. This bonded them as a community, really as a family as nothing else possibly could. This is reflecting to us what church is supposed to be. It is a community of disciples of followers of Christ, growing together as we spend time with our Savior Jesus Christ. No matter what your other relationships are like, the church should be where you find loving deep honest relationships that will support you like no other. Jesus knows you intimately by name, and intends that you be part of a body that seeks to know you and love you in the way that he does.

Our call is to follow Jesus, just as the call of these first disciples of Christ. Their response was immediate. They dropped what they were doing to follow Jesus, to be a part of the kingdom of God that was being built in and through Jesus Christ. Are you willing to do the same? Are you willing to leave behind any other commitments to completely follow Jesus and be on his mission of "fishing for men," seeking to make other disciples and bring them into the kingdom of God as well? If you have never repented of your sin and trusted in Jesus Christ as your Lord and Savior, then you can't respond to that call to be a disciple because you are still outside the kingdom of God. Today God is calling to you as Jesus called to the disciples, to follow Jesus. Would you do what they did and respond today? Repent of your sin and follow Jesus Christ as Savior and Lord. Become one of his disciples and enter into his kingdom which is so much better than anything we can experience here on this earth. Let's pray.